

## ロボット活用技術の強化・拡大に向けての “ロボットシステムインテグレータ育成講座”

### 要 旨

産業用ロボットは従来の自動車業界や電機・電子業界のほか、近年では少子高齢化による人手不足の影響から食品業界や金融業界など様々な分野で活用されており、ロボットを活用した自動化のニーズは急速に拡大している。

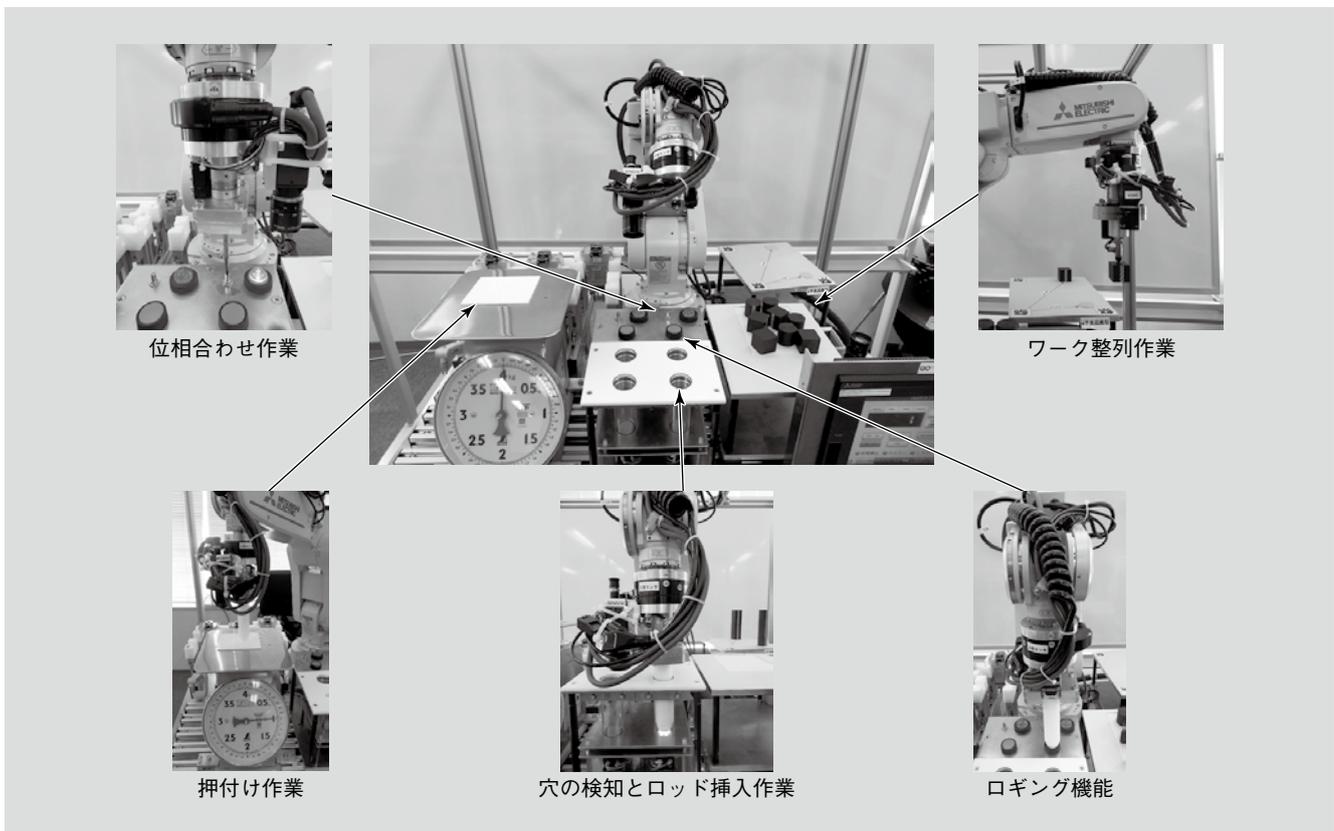
ロボットを活用した自動化を推進するには“ロボットシステムインテグレータ(以下“ロボットSIer”という。)”と呼ばれるプロフェッショナルが必要不可欠であるため、長年三菱電機エンジニアリングのロボット事業に携わっている名古屋事業所が主体になり、当社内のロボット活用技術の強化・拡大対策への取組みを行った。

2020年1月からロボットの基礎から知能化技術まで習得できる“ロボットSIer育成講座”を開講するとともに、講座に必要な実機を操作できる実習機として、“知能化

トレーニングセル”を開発した。知能化トレーニングセルには三菱電機㈱製の産業用ロボット“MELFA<sup>(注1)</sup> FR”，力覚センサ，二次元ビジョンセンサを搭載した。このセルは通常サイズのエレベーターにも搭載できるサイズであり，AC100Vの商用電源だけで動作できるため，様々な場で使用できる。より実践的な実習内容にするために工場等での実作業を想定した5種類のデモンストレーションを用意した。

ロボットSIer育成講座は名古屋事業所だけでなく，他事業所からも多くの従業員が受講している。今後も，ロボット活用技術の強化・拡大に邁進(まいしん)し，更なるロボット事業拡大に貢献していく。

(注1) MELFAは，三菱電機㈱の登録商標である。



### ロボットSIer育成講座の実習機“知能化トレーニングセル”

“知能化トレーニングセル”は，“MELFA FR”ロボットを実際に操作しながら教示し，プログラミングと力覚センサと二次元ビジョンセンサによるロボットの知能化技術を習得する環境を提供できる。実践的な実習内容とするため，工場などでの実作業を想定した5種類のデモンストレーションを用意した。